

学校における不祥事根絶に向けた取組の徹底について

水戸市立内原中学校

教職員による不祥事は、当該個人の処分のみにとどまらず、その軽率な行動によって、教職員と生徒、また保護者と学校との間で構築された信頼関係を一瞬で失墜させ、職全体にとって極めて不名誉となるものです。各学校において不祥事防止に向けた取組を行っているところですが、未だ根絶に至らない現状は極めて遺憾です。

子どもたちが安心して学べる学校であるために、そして自らの職責を全うするために、教職員一人一人が「自分も不祥事を起こし得る」という意識と、「自分の職場から不祥事を起こさない」という決意をもって、不祥事ゼロに向けた取組を徹底いたします。

本校では、標記について、次のとおり定め、その目的を果たします。

水戸市立内原中学校教職員は、
不祥事ゼロに向けた取組を徹底し、生徒・保護者及び地域からの信頼を確立します。

- 1 コンプライアンス校内研修計画に沿って研修を実施し、不祥事を自分事として捉え、教職員としての自覚と規範意識を高める。

研修内容

- ・ 服務規律の確保と学校事故の未然防止について
- ・ 情報管理の徹底と漏えい未然防止について
- ・ 飲酒運転・交通事故の未然防止について
- ・ 不適切な指導・体罰根絶に向け、事例検討と回避する指導のあり方について
- ・ セクハラやわいせつ行為事例検討と未然防止について
- ・ 学校徴収金の取扱いについて

その他、教育界にて不祥事が起こった際には、事件・事故内容を確認・共有し、注意喚起する。

- 2 具体的な不祥事防止対策

(1) 不適切な指導・体罰の根絶

- ・ 生徒の言い分を十分に聞いて事実を確認し、指導・支援にあたる。
- ・ 教職員は独断で指導はせず、報告・連絡・相談をして組織で対応する。
- ・ 生徒の立場やプライバシーを尊重するなど、人権意識をもって指導・支援を行う。

(2) 飲酒運転の根絶

- ・宴席参加の際の交通手段（帰宅）を確認する。（飲酒の場合は自家用車を置いてくる。）
- ・宴席で飲酒する教職員・飲酒しない教職員を全体で把握し、視覚的に認知することができるようにする。（色別シールを胸や腕に貼る。）

(3) わいせつ行為の根絶

- ・生徒指導等は複数人の教職員で行い、密室にならないようにする。
- ・盗撮等の根絶に向けて校内の整理整頓を心掛け、空き段ボール箱など不要なものは置かないようにする。
- ・教職員所有のスマートフォン等で、生徒を撮影しない。
- ・生徒写真の撮影・掲載には十分に注意し、誤解を与えないように配慮する。
- ・校内安全点検は、複数の担当者により担当箇所を変更しながら定期的に行う。

(4) 個人情報の取扱い、紛失事故の防止

- ・重要書類、諸帳簿類は所定の位置に保管し、校外への持ち出し及び部外者への閲覧は禁止している。
- ・テスト、ドリル等を校外へ持ち出す場合は、管理職に申請し承認を得てからとし、目的地へ直行する。
- ・受験事務、学年末事務等については、複数人による複数回の検閲チェック態勢で対処する。

(5) 学校徴収金の適切な管理

- ・複数の教職員が管理及び事務処理にあたり、収入事務、支払い事務を迅速適正に行う。また、保護者など外部関係者による監査体制を整える。
- ・物品購入は後払い（納品・請求書）を基本とする。個人のポイントカード、プリペイドカード、クレジットカードは使用しない。

(6) 不祥事根絶のための風土醸成

- ・教職員間で積極的に情報交換して意見を交わすなどコミュニケーションをとり、風通しのよい職場づくりに努める。
- ・他の教職員の行動・言動に違和感や疑問をもった時には黙認せず、直接注意したり、管理職へ報告・相談したりする。